

作成日：西暦 2026 年 3 月 10 日

2025 年 1 月～2025 年 12 月に産業医科大学病院において  
血液培養検査を実施された患者さんへのお知らせ

産業医科大学では、以下の研究を実施しております。この研究は、これから実施する調査で得られる情報に基づき実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和 3 年 3 月 23 日制定 令和 3 年 6 月 30 日施行）」により、対象となる皆様のお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。本研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

1. 研究課題名

BD BACTEC 21F 溶血タイプ嫌気用ボトル P・23F 好気用レズンボトル P を 1 セットとした血液培養検査における STAPH score の有用性の検証

2. 研究期間

研究機関の長の許可日～2027 年 3 月 31 日

3. 研究機関

産業医科大学病院 臨床検査・輸血部

4. 研究責任者

産業医科大学病院 臨床検査・輸血部

感染微生物検査室 臨床検査技師 田中佑佳

5. 研究の目的と意義

血液培養検査とは、敗血症などに代表される、血流感染症の診断に最も重要な検査です。敗血症は、感染症の中でも最も重篤な疾患であり、迅速な診断と、適切な抗菌薬治療が、患者の予後に直結します。血流感染症の診断には、血液培養によって流血中に存在する微生物を検出することが必須であり、血液培養検査で微生物が検出された場合には、速やかに同定、薬剤感受性を行う必要があります。

STAPH score とは、血液培養検査で実施されるグラム染色標本を観察することにより算出される数値であり、この数値によって黄色ブドウ球菌の推定が可能となります。

[目的]

今回、2025 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までに血液培養検査を実施し、ブドウ状のグラム陽性球菌が検出された検体のグラム染色から STAPH score を算出し、STAPH score が黄色ブドウ球菌の推定に有用か評価します。

[意義]

この研究を行うことで、適切な抗菌薬の投与などに有用な情報を素早く提供することが可能となります。

6. 研究の方法

産業医科大学病院にて血液培養検査が実施されたもののうち、ブドウ状のグラム陽性球菌が検出された検体のグラム染色から STAPH score を算出します。算出した STAPH score と検出病原体に関するデータを分析します。

7. 個人情報の取り扱い

個人情報は、分析する前にデータや試料の整理簿から住所、氏名、生年月日を削り、代わりに新しく符号をつけ、研究責任者が管理し、個人情報の漏洩を防止します。この研究で得られたデータは、院内の規定に従い、原則として、資料（文書、数値データ、画像など）は、当該論文等の発表後 10 年間、試料（実験試料、標本）や装置など「もの」については、当該論文等の発表後 5 年間保存された後、全て廃棄します。その際には研究責任者の管理の下、匿名化（個人識別不可能）したことを確認し、紙媒体のものはマスキングを施した上でシュレッダー処分し、電子媒体のものは復元不可能となるよう初期化を行い、個人情報が外部に漏れないように対処します。また同意が撤回された場合には、その時点までに得られたデータや試料を同様の措置で廃棄します。

8. 得られた情報の利用目的の範囲

- ・学術発表など研究目的：あり
- ・第三者提供：あり（論文投稿雑誌の要求がある際に限る）
- ・海外への提供：あり（論文投稿雑誌の要求がある際に限る）
- ・公的データベース等への登録：なし

9. 問い合わせ先

産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 田中佑佳  
福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1 TEL : 093-603-1611 (内線 3083)

10. その他

本研究に参加することによる直接的な利益はありません。また経済的負担や謝礼もありません。本研究は一切の利益相反はなく、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。